

教科または領域		国語
対象学年		小学校6年生
授業場所		教室
単元		ニュース番組を作ろう
単元の目標		ニュース番組の構成を考え、役割に応じた話し方をくふうしてわかりやすく伝える。 ニュース番組の構成や、話し方の工夫に注意しながら聞く。
単元の指導計画		<p>第一次 全文を通読し、学習の見通しを立てる。 学校版ニュース番組を作ることを知らせる。</p> <p>第二次 テレビのニュース番組を見て、番組の構成や内容などをとらえる。</p> <p>第三次 自分たちのニュース番組の構成や内容、役割について話し合い、計画を立てる。 グループの計画に沿って、各コーナーの取材活動を行う。 取材したことをもとに、番組進行表を作る。 番組進行表をもとに、台本を書く。 番組進行表や台本に沿って、視聴者を意識してニュース番組の発表練習をする。</p> <p>第四次 視聴者を意識してニュースの発表を行い、互いに感想を伝え合う。</p>
本時のねらい		自分の役割に基づいて、声の大きさや話す速さ、間の取り方、フリップの使い方などを工夫して話す。 録画したビデオを基にして、修正箇所や留意点を見つける。
指導計画	導入	1. 本時の課題をつかむ。 番組進行表や台本に沿って、視聴者を意識してニュース番組の発表練習をし、ビデオカメラで録画することを伝える。
	展開	2. 録画した番組を基にし、自己評価する。 声の大きさや、カメラ目線になっているか確認する。 グループで話し合い、修正箇所や留意点があれば、その都度、台本に書き込む。 書き直した台本に沿って、ニュース番組の発表練習をする。
	まとめ	3. 本時の学習を振り返り、次時の活動の予定を確認する。
<p>その他：</p> <p>本単元では、役割に応じた話し方を工夫し、わかりやすく伝えることを意識させたい。そのために、役割に応じた話し方（・声の大きさ ・話す速さ ・間の取り方 ・目線）に着目させ、フリップや映像なども取り入れ、視覚に訴えた工夫もさせた。自己評価の方法として、各グループごとに話し方を確認しあったり、アドバイスをしたりできるような練習の場を設定し、練習する時には、カセットテープレコーダーやビデオカメラを使用し、声の大きさやカメラ目線に気をつけさせた。また、話し方の確認やアドバイスの時にも活用させた。</p> <p>今回扱った単元のように、ビデオカメラを使用して自己評価をするのは、各自の発表を客観的に見ることができ、よりよいニュース番組作りにつながったと思われる。また、繰り返し録画し、修正を重ね、練習をしたので、ひとりひとりが自信を持ってニュースの発表を行えた。</p>		